

| | | | | | | |
|---|--|--|---|---------------------------------|-----------|--|
| 松江工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和05年度 (2023年度) | 授業科目 | 情報リテラシー 1 | |
| 科目基礎情報 | | | | | | |
| 科目番号 | 0001 | 科目区分 | 専門 / 必修 | | | |
| 授業形態 | 演習 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | | | |
| 開設学科 | 専門共通 | 対象学年 | 1 | | | |
| 開設期 | 前期 | 週時間数 | 2 | | | |
| 教科書/教材 | 学内作成テキスト | | | | | |
| 担当教員 | 廣瀬 誠, 齊藤 陽平, 土師 貴史, 藤嶋 教彰, 坪倉 佑太 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | | |
| (1) スムーズにタッチタイピングができる。 (2) メール送受信を行える。 (3) Word, Excelの基本的な使用法を理解する。 (4) PowerPointを使用し、与えられた課題について発表する。 (5) 情報セキュリティについて理解する。 (6) 必要な情報を検索し、それらを自ら発信するコンテンツに生かす方法を理解する。 (7) 決められた期日までにレポートを提出する。 | | | | | | |
| ルーブリック | | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | | |
| 評価項目1 | スムーズにタッチタイピングができる。 | タッチタイピングができる。 | タッチタイピングができない。 | | | |
| 評価項目2 | スムーズにメール送受信を行える。 | メール送受信を行える。 | メール送受信を行えない。 | | | |
| 評価項目3 | Word, Excelの基本的な使用法を完全に理解した。 | Word, Excelの基本的な使用法を理解した。 | Word, Excelの基本的な使用法を理解していない。 | | | |
| 評価項目4 | PowerPointの基本的な使用法を完全に理解し、与えられた課題について発表できる。 | PowerPointの基本的な使用法を理解し、与えられた課題について発表できる。 | PowerPointの基本的な使用法を完全に理解できていない。または、与えられた課題について発表できない。 | | | |
| 評価項目5 | 情報セキュリティの基礎について理解した。 | 情報セキュリティの基礎についておおよそ理解した。 | 情報セキュリティの基礎について理解していない。 | | | |
| 評価項目6 | 必要な情報を検索し、それらを自ら発信するコンテンツに生かす方法を理解した。 | 必要な情報を検索することができる。 | 必要な情報を検索できない。 | | | |
| 評価項目7 | 決められた期日までにレポートを提出した。 | 決められた期日までにレポートをおおよそ提出した。 | 決められた期日までにレポートを提出できない。 | | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | | |
| 全学科共通 G6 | | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | | |
| 概要 | 今日の情報化社会において、コンピュータは理工学のみならず、広く一般に利用されるようになってきました。情報リテラシー 1 では、コンピュータを使用した文書の作成や情報検索、メールのやり取りといった情報技術の活用を、鉛筆やボールペンを使用するかのよう感覚で行えるようになることを目標としています。 具体的には、情報処理の基本概念とコンピュータの仕組みを理解し、主としてWindows環境のコンピュータを活用しながら各種アプリケーション (Word, Excel, PowerPoint) の操作技術、およびWWWからの情報検索・抽出、メール操作などを通してインターネットの基本について学びます。さらに、情報化社会に円滑に参画するためのマナーや、情報セキュリティについても学習します。 | | | | | |
| 授業の進め方・方法 | ◆本科目は到達目標(1)～(7)の到達度を、 ・タッチタイピング試験 (中間試験・期末試験) 40% ・演習・課題 60% の割合で評価し、これらの合計を本科目の総合評価とする。 ◆総合評価が100点満点中50点以上であることを合格の条件とする。ただし、以下の場合、履修の意思なしとみなし不合格とする。 ・タッチタイピング試験を未受験。 ・1/3以上の欠席がある。 | | | | | |
| 注意点 | ◆課題課題の提出期限に遅れた場合は、1週遅れるごとに、その課題の評点を10%減点する。 ◆受講状況が良好な場合、再試験を実施する。 | | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | | | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | コンピュータ操作基礎編 1 コンピュータのハードウェア概要、Windows基本操作 1、タッチタイピング | 評価項目1, 評価項目6, 評価項目7を理解 | | |
| | 2週 | コンピュータ操作基礎編 2 Windows基本操作 2、メール送受信基礎について解説し、演習を行う。 | 評価項目1, 評価項目2, 評価項目6, 評価項目7を理解 | | | |
| | 3週 | PowerPointによるプレゼンテーション作成基礎の説明と実習 PowerPointの基礎とプレゼンテーション基礎を講義し、作成実習を行う。 | 評価項目1, 評価項目2, 評価項目3, 評価項目4, 評価項目6, 評価項目7を理解 | | | |
| | 4週 | Wordによる文書作成基礎の説明と実習 文字入力、ページ設定、表作成、について解説し、文書作成課題演習を行う。 | 評価項目1, 評価項目2, 評価項目3, 評価項目4, 評価項目6, 評価項目7を理解 | | | |
| | 5週 | Wordによる文書作成基礎の説明と実習 数式の作成および編集について解説し、演習を行う。 | 評価項目1, 評価項目2, 評価項目3, 評価項目4, 評価項目6, 評価項目7を理解 | | | |

| | | | |
|------|--|--|--|
| 2ndQ | 6週 | 情報セキュリティ（１） 電子メール利用時のマナーや注意事項などについて解説し、演習を行う。 | 評価項目1,評価項目2,評価項目3,評価項目5,評価項目6,評価項目7を理解 |
| | 7週 | 情報セキュリティ（２） インターネットの仕組み、SNS利用時の注意点などについて解説し、演習を行う。 | 評価項目1,評価項目2,評価項目3,評価項目5,評価項目6,評価項目7を理解 |
| | 8週 | Excelによるデータ処理基礎の説明と実習 データ入力、データ保存法について解説し、演習を行う。 | 評価項目1,評価項目2,評価項目3,評価項目4,評価項目6,評価項目7を理解 |
| | 9週 | タッチタイピング中間試験 タッチタイピング中間試験を行う。 | 評価項目1の理解度を測る |
| | 10週 | Excelによるデータ処理基礎の説明と実習 データ処理、相対参照、絶対参照について解説し、演習を行う。 | 評価項目1,評価項目2,評価項目3,評価項目4,評価項目6,評価項目7を理解 |
| | 11週 | Excelによるデータ処理基礎の説明と実習 関数の利用、グラフ作成について解説し、演習を行う。 | 評価項目1,評価項目2,評価項目3,評価項目4,評価項目6,評価項目7を理解 |
| | 12週 | Excelによるデータ処理基礎の説明と実習 グラフ作成法応用について解説し、グラフ作成課題演習を行う。 | 評価項目1,評価項目2,評価項目3,評価項目4,評価項目6,評価項目7を理解 |
| | 13週 | アプリケーション連携操作基礎及び応用の説明と実習 Excelで作成したグラフやその他のアプリケーションで作成したものをWordに貼り付け、文書を作成する。 | 評価項目1,評価項目2,評価項目3,評価項目4,評価項目6,評価項目7を理解 |
| | 14週 | PowerPointによるプレゼンテーション発表1 与えられた課題についてプレゼンテーションを行い、相互採点する。 | 評価項目1,評価項目3を理解 |
| | 15週 | タッチタイピング期末試験 タッチタイピング試験を行う。 | 評価項目1を理解 |
| 16週 | PowerPointによるプレゼンテーション発表2 与えられた課題についてプレゼンテーションを行い、相互採点する。 | 評価項目1,評価項目3を理解 | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|-------|------|---------|--|-------|-----|
| 基礎的能力 | 工学基礎 | 情報リテラシー | 情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。 | 1 | |
| | | | コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。 | 1 | |
| | | | 情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。 | 1 | |
| | | | 情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。 | 1 | |
| | | | 個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。 | 1 | |
| | | | インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している | 1 | |
| | | | インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。 | 1 | |

評価割合

| | タッチタイピング試験 | 演習・課題 | 合計 |
|---------|------------|-------|-----|
| 総合評価割合 | 40 | 60 | 100 |
| 基礎的能力 | 20 | 30 | 50 |
| 専門的能力 | 20 | 25 | 45 |
| 分野横断的能力 | 0 | 5 | 5 |

| | | | | | |
|--|--|---------------------------------|---|---------------------------------|----------|
| 松江工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和06年度 (2024年度) | 授業科目 | 情報リテラシー2 |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 0002 | | 科目区分 | 専門 / 必修 | |
| 授業形態 | 演習 | | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | |
| 開設学科 | 専門共通 | | 対象学年 | 2 | |
| 開設期 | 後期 | | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 高専情報セキュリティ人材育成事業 (K-SEC事業) にて作成された教材を利用。 | | | | |
| 担当教員 | 藤嶋 教彰, 衣笠 保智, 鈴木 聖弥, 稲葉 洋, 広瀬 望, 三谷 卓摩 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| (1) 情報技術の基礎を理解した。 (2) 情報セキュリティの基礎を理解した。 (3) 情報モラルを理解した。 (4) 自分の意見を伝えることができた。 (5) 他人の意見を聞き咀嚼することができた。 | | | | | |
| ルーブリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | |
| 評価項目1 | 情報技術の基礎を完全に理解した。 | 情報技術の基礎における重要項目は完全に理解した。 | 情報技術の基礎における重要項目を理解していない。 | | |
| 評価項目2 | 情報セキュリティの基礎を完全に理解した。 | 情報セキュリティの基礎における重要項目は完全に理解した。 | 情報セキュリティの基礎における重要項目を理解していない。 | | |
| 評価項目3 | 情報モラルの基礎を完全に理解した。 | 情報モラルの基礎における重要項目は完全に理解した。 | 情報モラルの基礎における重要項目を理解していない。 | | |
| 評価項目4 | 自分の意見を完全に相手に伝えることができた。 | 自分の意見を最低限相手に伝えることができた。 | 自分の意見を相手に伝えることができなかった。 | | |
| 評価項目5 | 他人の意見を聞き完全に咀嚼することができた。 | 他人の意見を聞き最低限理解することができた。 | 他人の意見を聞き理解することができなかった。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 情報セキュリティに関する知識は、幅広い分野で必須の項目となっている。本科目では、まず情報セキュリティの前段階として情報技術に関する基礎を理解する。次に、情報技術の基礎に基づき情報セキュリティに関する基礎を理解する。最後に、情報セキュリティの基礎に基づき、情報モラルについて理解・考察する。これらを、グループワークを通じた調査・発表を用いて行う。 なお、授業計画 (学習内容) は学科により多少異なる場合があるが、基本的には以下内容に従う。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 到着目標 (1) ~ (3) について、以下の割合で評価し、これらの合計を本科目の総合評価とする。 ・振り返りテスト (毎回行う小テスト) 50% ・グループワークの内容に基づくレポート 50% 総合評価が100点満点中50点以上であることを合格の条件とする。定期試験は行わない。 なお、レポートは班で一つ提出するとし、レポートの採点結果は班員全員の得点とする。 | | | | |
| 注意点 | 本科目は、全学科で実施される科目である。 2/3以上の出席を必要とする。 | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | インターネットとは インターネットの仕組みについて学びます。 | 評価項目1、評価項目4、評価項目5 | |
| | | 2週 | Web Webの仕組みについて学びます。 | 評価項目1、評価項目4、評価項目5 | |
| | | 3週 | 情報検索とWeb Webを用いた情報検索について学びます。 | 評価項目1、評価項目4、評価項目5 | |
| | | 4週 | アナログとデジタル アナログとデジタルの違いについて学びます。 | 評価項目1、評価項目4、評価項目5 | |
| | | 5週 | コンピュータの仕組み コンピュータの仕組みについて学びます。 | 評価項目1、評価項目4、評価項目5 | |
| | | 6週 | 情報のデジタル表現 情報のデジタル表現について学びます。 | 評価項目1、評価項目4、評価項目5 | |
| | | 7週 | 通信手段の歴史 通信手段の歴史について学びます。 | 評価項目1、評価項目4、評価項目5 | |
| | | 8週 | インターネットの仕組みと様々なサービス インターネット上のサービスについて学びます。 | 評価項目1、評価項目4、評価項目5 | |
| | 4thQ | 9週 | 社会における情報システム 社会における情報システムについて学びます。 | 評価項目3、評価項目4、評価項目5 | |
| | | 10週 | 情報社会の特徴と問題 情報社会における課題について学びます。 | 評価項目3、評価項目4、評価項目5 | |
| | | 11週 | 情報社会と個人 情報社会における個人の振る舞いについて学びます。 | 評価項目3、評価項目4、評価項目5 | |
| | | 12週 | セキュリティ対策 情報セキュリティの基礎について学びます。 | 評価項目2、評価項目4、評価項目5 | |
| | | 13週 | 情報社会と技術者 情報社会における技術者のモラルについて学びます。 | 評価項目2、評価項目3、評価項目4、評価項目5 | |

| | | | |
|--|-----|--|-------------------------------|
| | 14週 | ユーザ、インタフェースとユーザビリティ UIおよび利便性について学びます。 | 評価項目1、評価項目2、評価項目3、評価項目4、評価項目5 |
| | 15週 | 情報セキュリティに関する総まとめ | 評価項目1、評価項目2、評価項目3、評価項目4、評価項目5 |
| | 16週 | | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|----|----|------|-----------|-------|-----|
|----|----|------|-----------|-------|-----|

評価割合

| | 振り返りテスト | レポート | 演習・課題 | 学習態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
|---------|---------|------|-------|------|---------|-----|-----|
| 総合評価割合 | 50 | 50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50 |
| 専門的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分野横断的能力 | 0 | 50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50 |